

08

かみさまが そなえられました

げつようび

創世記
22章 13節

アブラハムが目を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。

神様はアブラハムを信仰の先祖、多くの国民の父として呼ばれました。実際の彼は、非常に優柔不断な人でした。しかし、神様に祭壇を築き礼拝の祝福は、いつものがさなかったのです。そのようなある日、アブラハムはおいロトと別れて神様とともに新しい始まりを迎えました。そののち、神様はアブラハムに約束された長子イサクを与えてくださいました。神様がアブラハムにモリヤの山でイサクを礼拝のための全焼のいけにえとしてささげなさいと言われたとき、アブラハムはみことばどおりに従いました。そのときアブラハムは、神様があらかじめ備えてくださったイサクの代わりの雄羊を発見して、その雄羊を全焼のいけにえとしてささげることができました。この雄羊は人が解決できない霊的問題、原罪の問題を解決するために神様が送ってくださるキリストの象徴です。

アブラハムとイサクは、キリストを正確に握って、すべての問題を解決された答えを受けました。神様はアブラハムの水準と基準をご覧になったではありません。神様がみことばを契約として与えられ、アブラハムはみことばの契約どおりに子どもを得て、そして、祭壇を築いて世界を福音化する祝福を受けました。神様は今もみことばをくださり、そのみことばを成し遂げてくださいます。私たちも神様のみことばを契約として握りましょう。神様は神様ご自身で備えられたみことばどおりに成就されるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が備えてくださった契約どおりに、すべての問題を解決されたキリスト、世界福音化の祝福を契約として握るよう導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

原罪の問題を解決するために神様が備えられた約束を契約として握りながら、下のみことばを聖書から見つけて書きましょう



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



かみさまが そなえられた ひかりの けいざい

創世記
26章 22節

イサクはそこから移って、ほかの井戸を掘った。その井戸については争いがなかった。その名をレホボテと呼んだ。そして彼は言った。「今や、主は私たちに広い所を与えて、私たちがこの地でふえるようにしてくださった。」

神様は信仰の先祖アブラハムに祝福の根源という祝福を与えてくださいました。そののち神様は、契約の中で生まれたアブラハムの子どものイサクにも同じ契約を与えてくださいました。イサクは、羊の群れや、牛の群れ、それに多くのしもべたちを持つほどに富み、ますます栄えて、非常に裕福になりました。彼が農作業をすると、1年で百倍の収穫を得ました。イサクが暮らしていた古代近東地方では、泉はとても貴重なものでしたが、彼は泉を掘るたびに、泉の根源を見つけました。神様が最後に与えられた土地レホボテでは、イサクは神様の契約成就を体験しました。その結果、イサクは神様が備えてくださった福音経済の祝福を受けました。彼は一生成功を目標にせず、ひたすら神様とともにいる契約の旅程の中にいました。これが父アブラハムのように、契約の祭壇を築くための一日を止めなかった理由です。

神様の契約を握った人は、ひとりですべての人を生かすことができるほど十分に神様が備えてくださっている伝道と宣教のための光の経済を受けるようになります。今日、その祝福を待って、イサクのように祭壇を築く一日を送りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。契約の旅程の中で、神様が備えてくださった伝道と宣教のための光の経済を待ちながら、祭壇を築くように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン

インマヌエル教会聖日 2部 | 2020.01.26



イサクのように、私に神様がくださった契約を握って、体験する奥義を覚えつつ、神様に感謝する日記を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんびん
準備する資料



かみさまの みざを うごかす レムナント

すいようび

詩篇
103篇20節

主をほめたたえよ。御使いたちよ。みことばの声に聞き従い、みことばを行なう力ある勇士たちよ。

神様は神様のかたちとして私たちを創造してくださり、貴重で尊いレムナントとして呼んでくださいました。世の中で最も高価で最高の性能を持つスーパーコンピュータとも比べることができないくらい、価値ある存在がレムナントです。このような私たちに、神様は世の中を治めて征服する祝福を与えてくださいました。心と思いは、私たちの霊的状态を変える道になり、神様の御座を動かす霊的力を受ける道になります。同じように、私たちのからだを作っている肉体の健康も重要です。レムナントのダビデは幼いころからこの祝福を受けて味わっていた指導者でした。

神様はダビデが乳をのませる羊を守っていた羊飼いのときからイスラエルを生かす王として準備されました。それゆえ、ダビデには心、思い、肉体に神様からの力が宿っていました。彼は一生の間に73篇の神様を賛美した詩を残したほどに契約を握って、神様の御座を動かす祈りをささげて、神様への作品を残しました。

ダビデと同じ祝福を受けた私たちは、とても貴重な存在だということを忘れないようにしましょう。今日も心と思いの道に従って神様の御座を味わい、私が行くすべての所が生かされることを祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。すべての問題を解決されたイエス・キリストの力によって、神様の御座を味わい、動かすように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

神様は私をダビデのように準備してくださっています。神様の御座を動かすほど、契約と祈りに集中していたダビデの姿を想像しながら、絵で表現しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank grid area for drawing and notes.



げんばを うごかす ちからを もった レムナント

もくようび

1列王
19章 18節

しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひざをかがめず、バアルに口づけしなかった者である。

イスラエルから福音が消えたとき、イスラエルは北のイスラエルと南のユダ、二つの国に分かれるようになりました。北のイスラエルの王だったアハブは、王妃イゼベルとともに、当時、農業と豊作の神として信仰を集めたバアルとアシェラをおがんでいました。そんなある日、数多くのバアルの預言者がカルメル山でのレムナントのエリヤとの霊的な戦いに負けて、殺されてしまったのです。王妃イゼベルがエリヤを殺すと脅迫したので、エリヤは死ぬ事を願いつつ逃げました。その後、神様に導かれてたどり着いたホレブの山で、かすかな細い神様の御声を聞き、バアルにひざまずかなかった7千弟子とエリシャを見つけて立てるようになりました。

すべてが完ぺきに見える世の中ですが、ただ福音だけでなく崩れていっていきません。それゆえ、神様は今、レムナントを通して現場の偶像文化を変えて、偶像に仕えることで得た力によってこの世を治めている指導者を生かすことを願っておられます。遠い未来のように見えるその日を準備しましょう。毎日、神様が与えてくださる霊的力を受ければ、将来の私を未来を変化させる霊的サミット、証人として立ててくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。霊的な力を備えた霊的サミットになって、現場に正確な福音を伝える大人になるように、準備させてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

11. さんびするとき

作詞/作曲: ヤン・ジョンミン

♩=113ca.

F Gm7/F C/F F

さんび すーるときー サタン しーりぞくー

F Gm7/F C/F F

5 おいのりーのときー ちからくーださるー Fine

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

けいやくの ひとに あたえられた しゅくふく



わたしの ー ために よみが えー られた まい え す を つ た え よ ー う



みちびか ー れて こたえら ー れる だい す き イエ ス さ ま ー ー



きょうの でんどう

あ ひと
会 う 人

じゅんび しょう
準備 する 資料

あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。

マタイ
5章 13節

生きておられる神様は、私たちに聖書のみことばというツールを通して福音をくださいました。39巻からなる旧約には来られるメシヤ、27巻からなる新約には来られたキリストについて記録されています。ヘブライ語ではメシヤ、ギリシャ語ではキリストと言います。キリストを神様の契約として握った人々は、時代を生かして、世界を変化させた契約の人であり、祝福の主人公になりました。

旧約に記録されたレビの女性ヨケベデは、レビの男性と結婚しました。そして、奴隷になってしまっていたイスラエル民族を見て心を痛め、レムナントのモーセに切なる思いで契約を伝えました。契約によって刻印されたモーセは、40年の王宮生活と40年のミデヤン生活を通して、創世記から申命記までの神様のみことばを記録しました。そして、イスラエルの民を出エジプトによって、カナン之地まで案内しました。新約には初代教会の伝道者を助けて、現場の霊的司令官として用いられたローマ16章のプリスキラとアクラ夫婦やルデヤのような弟子が登場します。彼らは契約の人として、福音運動に参加する祝福を味わいました。契約の人々のように、神様の契約を握りましょう。キリストの祝福を受けた主人公になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。契約の人たちのように、キリストの祝福をあちこちに伝えるレムナントになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

13

れいはいの さいだんを きずこう

とようび

創世記
14章 20節

あなたの手に、あなたの敵を渡されたいと高き神に、誉れあれ。」アブラムはすべての物の十分の一を彼に与えた。

多くの人が、人間を「万物の霊長」「秀でた知的能力を持つ動物」と言います。しかし聖書には「人は神様のかたちを持つ霊的存在」だと書かれています。ですから、動物とは異なり、まことの幸せを追求しているのです。しかし、どんなにすばらしい成功と肉的な満足を手に入れても、霊的問題と霊的な飢え渇きを解決できなければ、みんなまちがいなく不幸になります。神様によってしか満たすことのできない心と思いの隙間を満たそうと宗教に頼り、偶像崇拜をして、熱心に祈ります。ときには特別な霊的体験もするのですが、神様に会うことのできない人々は、結局、祈りを通してサタン（悪魔）に会っているだけです。

アブラハムは偶像を作って売っていた裕福な家系の人だったのですが、神様のみにことばに従って、キリストが来られる地に行きました。彼は神様の前に礼拝の祭壇を築き、神様から与えられたみことばを契約として握りました。礼拝をささげるとき、霊的世界で起きる驚くべき祝福について分かったからです。

私たちも、一人でささげる礼拝を通して、神様がくださるみことばと祈りの祝福を味わいましょう。思いと心の集中によって、たましいが生きられ、契約の人として神様の力を備えた証人になるでしょう。

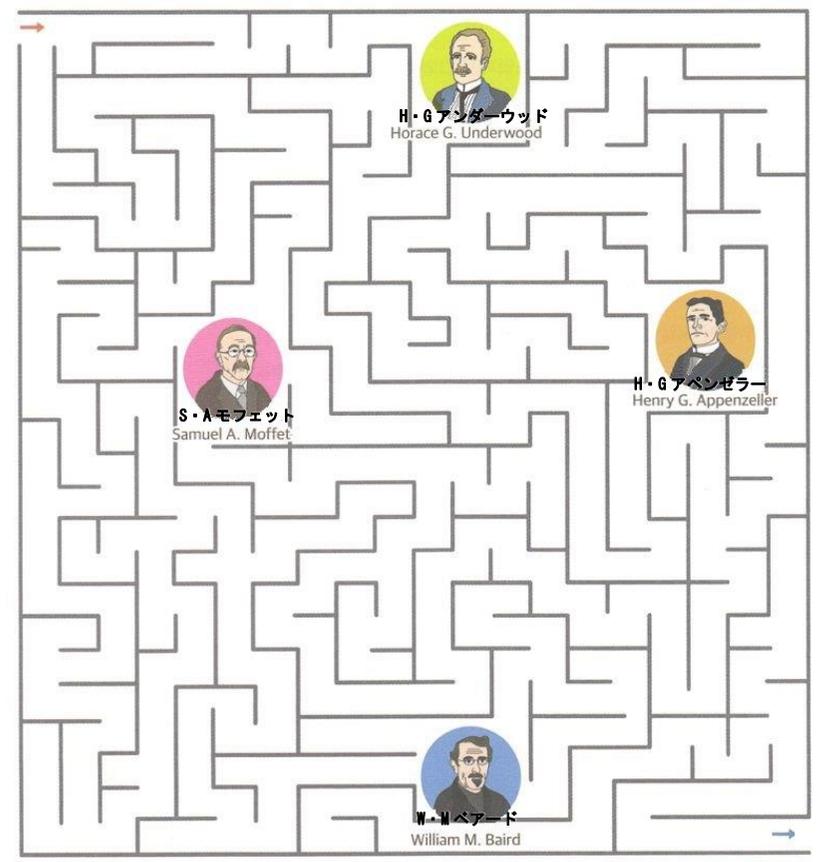
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。アブラハムのように、みことばを回復した礼拝の祭壇を築いて、時代を生かす世界福音化の証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様が計画されたとおりに選んで、宣教地に送られた宣教師たちは礼拝の祭壇を築きました。韓国キリスト教の歴史に登場する宣教師たちの絵を通して、ゴールまで行きましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

準備する資料
